

2025年度版

口腔インプラント専門医 試験時必要書類

📌 2025年度専門医試験日および指導医**試験日**

2026年**1月12日**（月・祝日）

会場：TKPガーデンシティPREMIUM田町

📌 2025年度専門医**受験者説明会**

2026年**1月11日**（日）17時30分から18時（予定）

2025年度口腔インプラント専門医試験概要

1. 申請書類の郵送

- ☑ 口腔インプラント専門医申請書
- ☑ 口腔インプラント専門医申請チェックリスト
- ☑ 20症例（規定書式・光沢紙印刷）

印刷物
郵送

※自署・研修施設長の署名捺印が必要です

2. プレゼンテーションの事前オンライン提出

- ☑ パワーポイントなどでボーンアンカーカードブリッジ発表症例の資料を作成しPDFにして→専用サイトにアップロードしてオンライン提出
- ☑ 19症例（規定書式で作成しオンライン提出）

3. 筆記試験・専用PCでプレゼンし口述試験

- ☑ 筆記試験（一般問題と臨床実地問題）
- ☑ 事前にアップロードした資料を用いて試験会場の専用PCでプレゼン

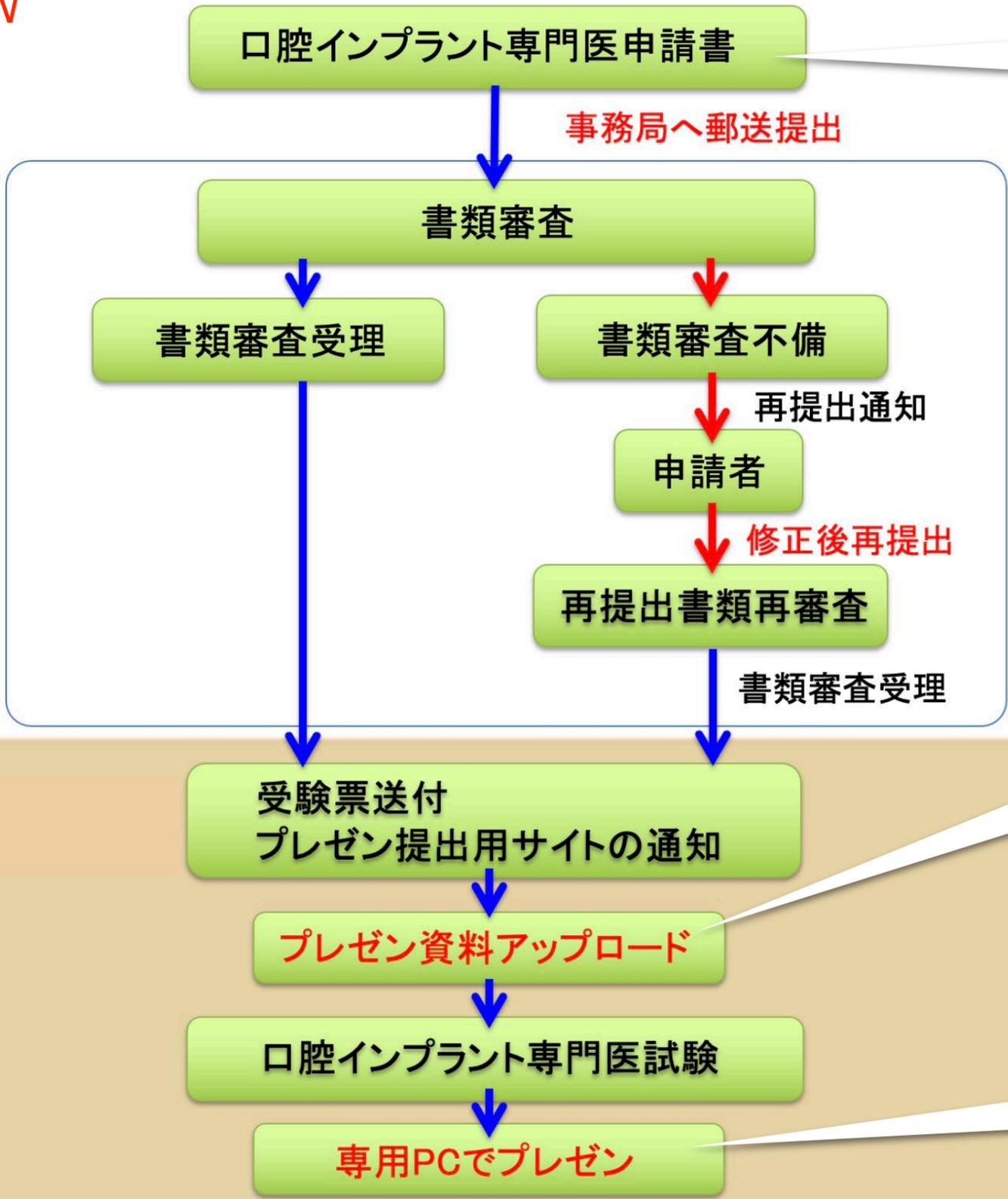
口腔インプラント専門医試験実施内容および方法

New

- 筆記試験：一般問題と臨床実地問題
：合計90分間
- 口述試験：受験者1名に対して試験審査員3名
：30分間
：事前アップロードした多数歯欠損のボーンアンカードブリッジ症例についてプレゼンテーション（5分間）
その後，発表症例を含めた20症例について口述試験
（合計約20分間）

口腔インプラント専門医 新規申請の流れ

New



変更なし

※口腔インプラント専門医申請書，口腔インプラント専門医申請チェックリストと20症例パノラマエックス線写真による症例報告書（**図1書式・光沢紙印刷**）を郵送のこと。

New

紙媒体の持参は必要なし

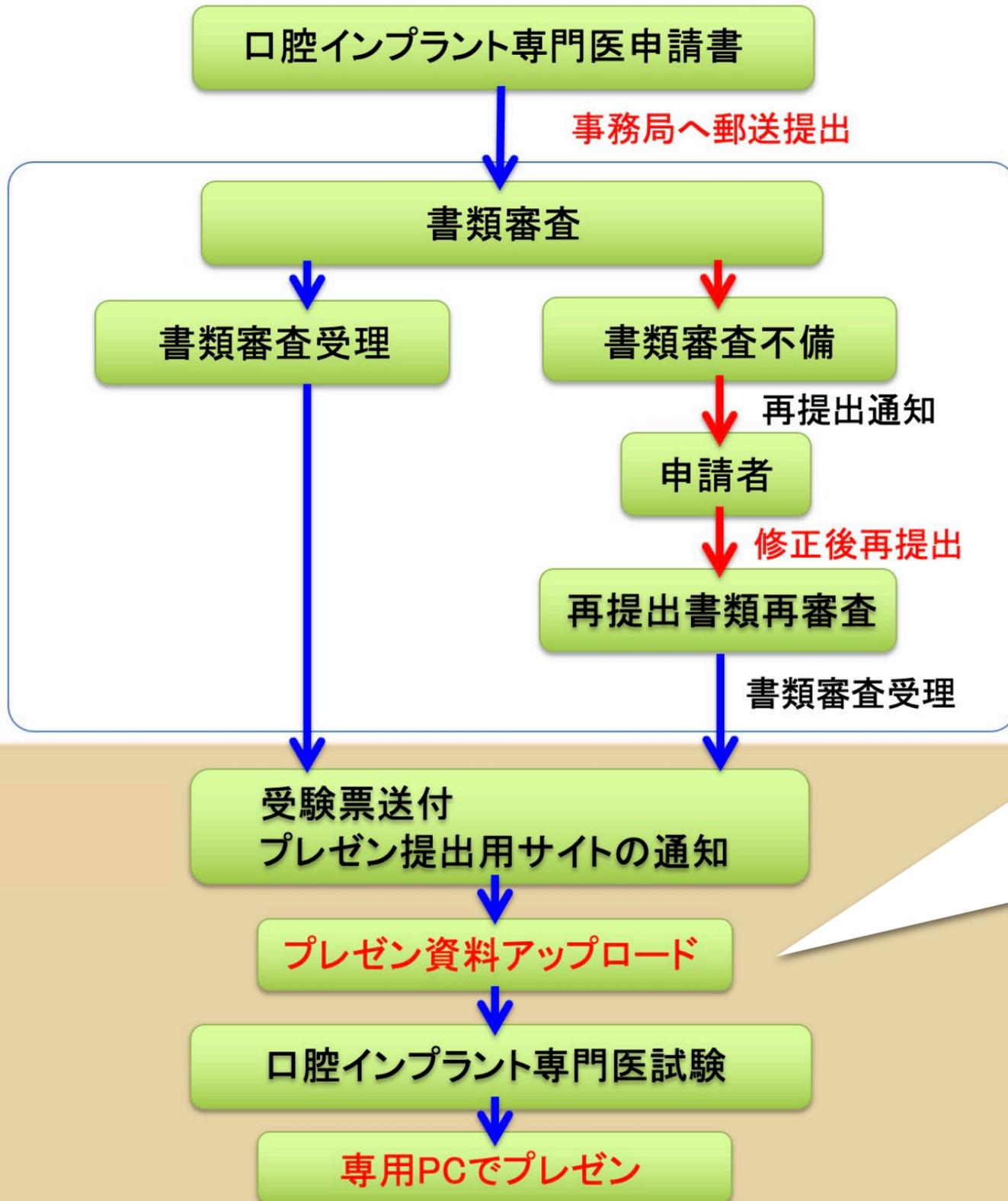
※ボーンアンカードブリッジ症例のプレゼンテーションを作製（**図3**）しPDF形式に保存，専用サイトにオンライン提出。

※プレゼンテーション症例以外の19症例をパワーポイントなどで作製（**図5**）しPDF形式に保存，専用サイトにオンライン提出。

New

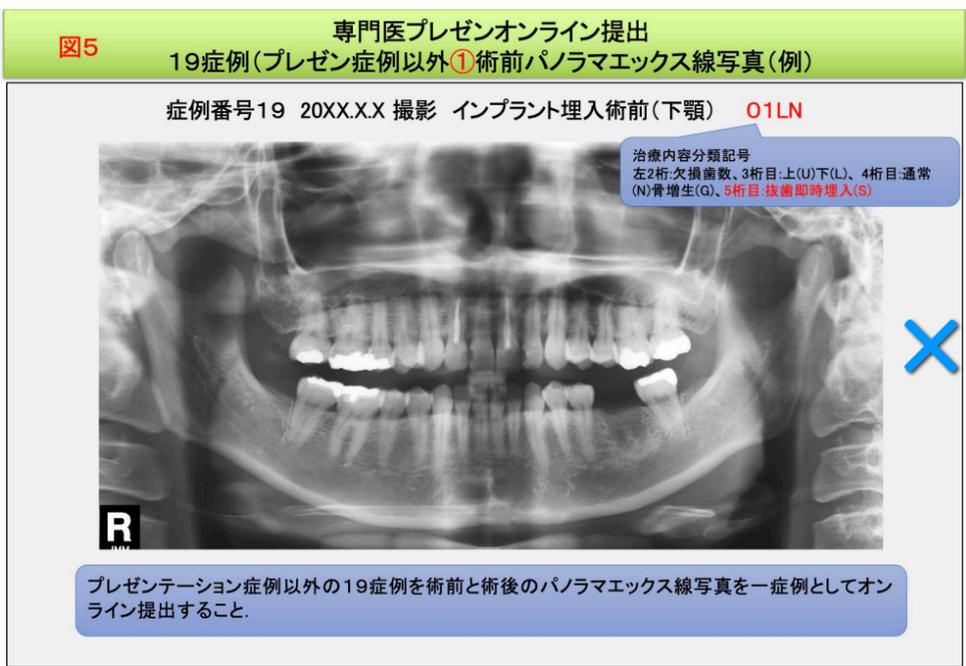
※この事前にアップロードした資料を用いて，試験会場の専用PCでプレゼンし，口頭試問を行います。

口腔インプラント専門医 新規申請の流れ



New

専用サイトにオンライン提出 全てPDF



口腔インプラント専門医 試験時必要書類

New

事前に口述試験用のプレゼン資料と19症例のパノラマエックス線写真をオンライン提出すること。

口腔インプラント専門医	
口述試験用プレゼン症例	多数歯欠損症例(1症例)のPDFを ケースプレゼンテーション試験に準じた資料 を作成し、プレゼン提出用サイトにアップロード, 試験会場の専用PCでプレゼン. 紙媒体の持参は必要なし ※1(注意事項1参照) ※2(図3, 4参照)
19症例	プレゼン以外の19症例分の術前と上部構造装着後3年以上経過時のパノラマエックス線写真のPDFをオンライン提出すること ※3(図5参照)
その他オンラインしても良いもの	口述試験用の症例については, 治療経過の説明ができる資料, 要約書, 模型, アップロードファイル以外のエックス線写真, CTデータ, 血液検査データなどが必要と判断する場合は, 全て画像化してオンライン提出しても良い ※4(注意事項2参照) 2(図4参照)

- ※1: 症例については, 口腔インプラント専門医新規申請時必要書類を参照のこと.
- ※2: 口述試験時にはアップロードした多数歯欠損のボーンアンカードブリッジ(粘膜負担のない上部構造)症例についてプレゼンを行い評価する(図3, 4参照).
- ※3: その他の19症例は, 症例ごとに術前および上部構造装着後3年以上経過時パノラマエックス線写真を別々にオンライン提出, 紙媒体の持参は必要なし(図4参照).

New

紙媒体の持参は必要なし

※ボーンアンカードブリッジ症例をケースプレゼンテーション試験に準じた資料を作製(図3とケースプレゼンテーション資料作成例を参照)しPDF形式に保存, 専用サイトにオンライン提出.

※プレゼンテーション症例以外の19症例をパワーポイントなどで作製(図5)しPDF形式に保存, 専用サイトにオンライン提出.

※その他のプレゼン資料の診断用ワックスアップモデルや図4資料は全て画像化してオンライン提出し, プレゼンに使用しても良い.

口腔インプラント専門医 試験時**注意事項1**

パノラマエックス線写真についての注意事項

- 症例ごとにインプラント埋入術前と上部構造装着後**3年以上経過時**のパノラマエックス線写真に、症例番号、撮影年月日、上顎・下顎、治療内容分類記号を記載すること。
- 術前のパノラマエックス線写真とは、インプラント治療部位に歯のない状態を指し(抜歯即時埋入は除く)。歯のあるパノラマエックス線写真の場合は、欠損の状態を確認したデンタルエックス線写真もしくはCT写真を添付すること。
- パノラマエックス線写真において両側顎関節が写っていることを原則とする。ただし、撮影機種によっては顎関節部が十分に映らない場合がある。その場合は機種名等を記載すること。

口述試験プレゼン症例の 口腔内写真についての注意事項

- 術前および上部構造装着後**3年以上経過時**の口腔内写真とパノラマエックス線写真をオンライン提出すること。
- 口腔内写真は、正面観・左右側面観・上下顎咬合面観の計5枚の5枚組とし、12枚、14枚の場合は5枚を選んで提示するのではなく全てを提示してください。
- 最後臼歯部などの施術部位が写らない場合、ミラーなどを使用してインプラント埋入部位や治療内容が確認できる写真を追加すること。
- 術前とは、必ずしも初診時の口腔内写真ではない。診断の根拠とした欠損部位の状況が確認できる判読できる写真を指す。

口腔インプラント専門医 試験時**注意事項2**

口腔インプラント専門医試験プレゼンテーション症例 オンライン提出資料についての注意事項

- 専門医試験における受験者選択のプレゼンテーションの1症例については
 - 術前(インプラント埋入術前であり、必ずしも初診時ではない)
 - 上部構造**装着時**
 - 上部構造装着後**3年以上経過時**

それぞれのステージでの5枚組口腔内写真 およびパノラマエックス線写真をオンライン提出すること。

- 上部構造装着時のエックス線写真については、上部構造の適合状態やインプラント周囲骨の状態を確認できるデンタルエックス線写真やパノラマエックス線写真を提示すること。
- 上部構造装着時のエックス線写真がない場合は、上部構造(フレーム)試適時のエックス線写真も、代用として認める。上部構造装着時のエックス線写真(パノラマあるいはデンタルエックス線写真)と口腔内写真については、上部構造装着後概ね3ヶ月以内が望ましい。
- その他の資料の①診断用ワックスアップモデル②術前診断資料 ③術中手術写真④上部構造の写真⑤その他模型や血液検査データなどのプレゼンに必要と判断する場合は、全て画像化してオンライン提出してください。

口腔インプラント専門医試験口述試験 オンライン事前提出マニュアル

オンライン事前提出のポイント

1. 20症例一覧表とプレゼン資料と19症例資料を一つのPDFファイルにして、これを専用サイトにオンラインで事前に提出してください。
2. 紙媒体や各種模型などの持参は不要。
プレゼン症例に必要な診断用ワックスアップモデルや各種の模型なども、画像化してオンライン提出してください（図4書式）。
3. この事前提出した資料を用いて、試験会場の専用PCで説明し、口述試験を行います。
4. 発表用のメモや原稿などの持ち込みは可能です。但し、個人のノートパソコン等の使用は認めません。

1. 20症例一覧表の作成

- ・ 9号様式の20症例一覧表をPDFで出力してください。
- ・ 受験者の氏名を自署としていましたが、パソコンでの文字入力で行ってください。
- ・ 欠損部位の記入方法はカギ付き歯式からFDI方式に変更になっております。全てパソコンで入力してください。

20症例 一覧表

7号様
氏名

氏名をPC文字入力

一覧表

治療内容分類記号：左2桁：欠損歯数、3桁目：上(U)下(L)、4桁目：通常(N)骨増生(G)、5桁目：抜歯即時埋入(S)

7号様氏名	患者名	年齢	性別	初診日	欠損部位	下部構造担当者	上部構造担当者	治療内容分類記号入力	パノラマエックス線術前撮影日	上部構造装着日	パノラマエックス線3年後撮影日	経過及び予後
例	○田○郎	45	男	2015.1.1	17 - 15	専門太郎	専門太郎	03UN	2015.2.1	2015.5.30	2018.5.31	良好
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												

~~氏名 白署記入~~

患者名の匿名化：○田○郎

歯式FDI方式：17-15

多数歯欠損症例3症例以上
そのうちボーンアンカーブリッジ1症例以上

欠損歯数の多い順
上部構造装着日が古い順

※記入はパソコン入力とし、欠損歯数の多い症例が最上位で、かつ上部構造装着日が古い症例から順番に記載すること。
※欠損部位はFDI方式で記載すること。

2. プレゼンテーション症例の資料作成

- ・ プレゼンテーション症例の資料をパワーポイントやキーノートで作成してください。
- ・ 16 : 9のワイド画面で作成することを推奨します。

New

専門医試験プレゼンテーション アップロード資料

必要資料

- ① 術前口腔内写真(5枚組以上)
- ② 術前パノラマエックス線写真
- ③ 上部構造装着時口腔内写真(5枚組以上)
- ④ 上部構造装着時エックス線写真
- ⑤ 上部構造装着後3年以上経過時口腔内写真(5枚組以上)
- ⑥ 上部構造装着後3年以上経過時パノラマエックス線写真

その他資料 ※必要に応じてプレゼンに使用しても良い

- ① 診断用ワックスアップモデル ※画像化して持参しない
- ② 術前診断資料(CTなどの画像診断写真)
- ③ 術中手術写真(手術所見の判断できる写真)
- ④ 上部構造の写真(プロビジョナル装着所見や 上部構造の設計所見など)
- ⑤ その他 血液検査データ, 術中管理記録や術中管理生体モニター記録など

※資料そのものの変更はありません。図3書式でプレゼンテーションをパワーポイントなどで作製しPDF形式にして、専用サイトにアップロードしてください。
事前にプレゼン資料をオンライン提出することと、試験会場で専用PCでプレゼンすることのみが変わりました。

※口腔内写真は、12枚法、14枚法で撮影されたものも認めます。
その場合は、12枚あるいは14枚から5枚を選んで提示するのではなく、全ての写真を提示してください。

プレゼンテーション資料の基本はこの6枚です

必要資料

- ① 術前口腔内写真(5枚組以上)
- ② 術前パノラマエックス線写真
- ③ 上部構造装着時口腔内写真(5枚組以上)
- ④ 上部構造装着時エックス線写真
- ⑤ 上部構造装着後3年以上経過時口腔内写真
(5枚組以上)
- ⑥ 上部構造装着後3年以上経過時パノラマエックス
線写真

プレゼンテーション症例の資料作成例（基本：図3）

症例番号1 20XX.X.X 撮影 インプラント埋入術前(上顎) 13UN

①術前口腔内写真

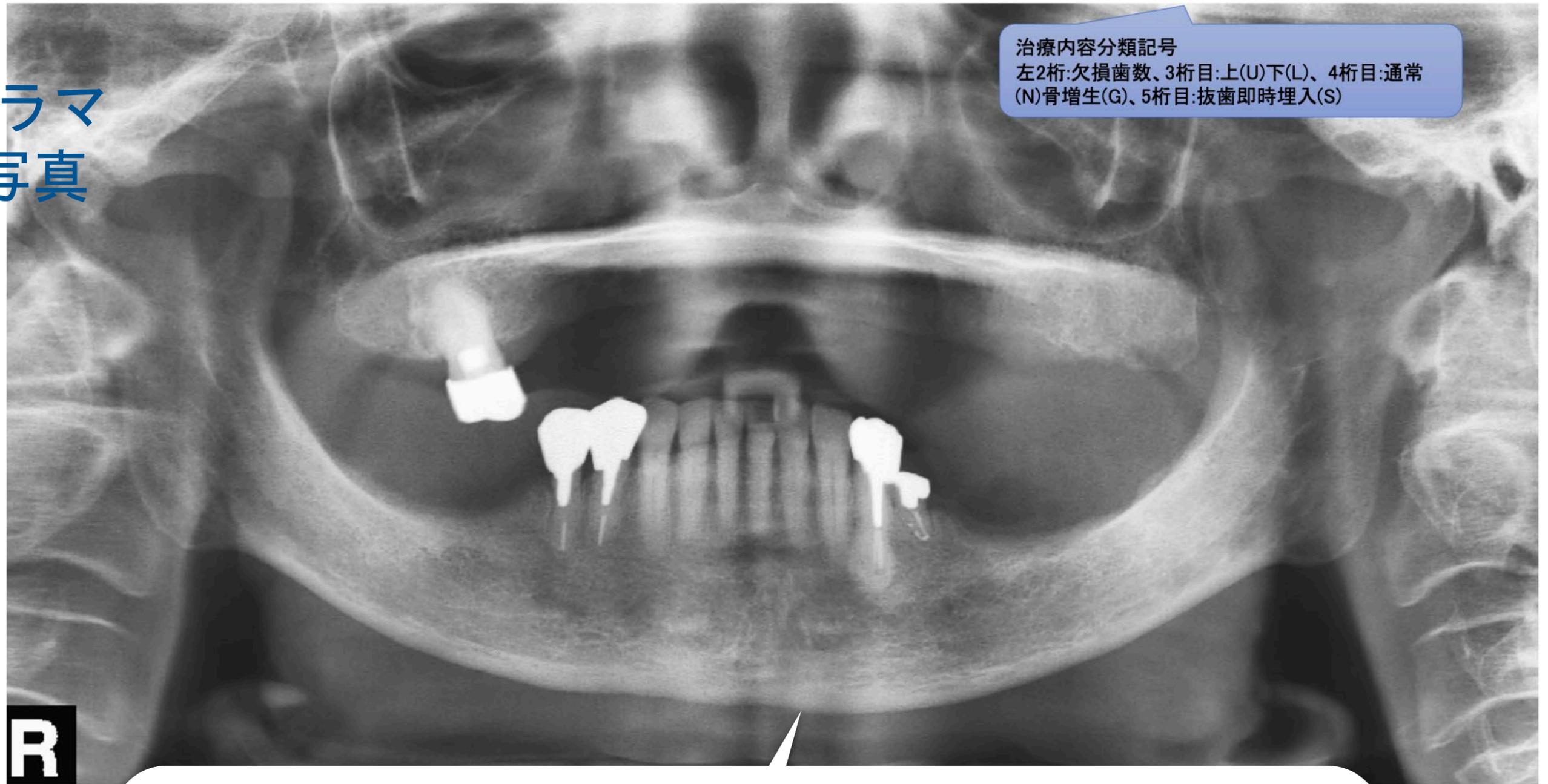


- ・ 16 : 9 のワイド画面で作成することを推奨します。

プレゼンテーション症例の資料作成例（基本：図3）

症例番号1 20XX.X.X 撮影 インプラント埋入術前(上顎) **13UN**

② 術前パノラマ エックス線写真



顎関節撮影できないCTのパノラミック画像の場合は、
(例) ファインキューブによるパノラミック画像と記載してください。

プレゼンテーション症例の資料作成例（基本：図3）

症例番号1 20XX.X.X 撮影 上部構造装着時(上顎) 13UN

③ 上部構造装着時 口腔内写真



・暫定期間を2023年度まで2年間延長します。上部構造装着時の口腔内写真，パノラマエックス線写真やデンタルエックス線写真などが無くても症例として認めてます。

プレゼンテーション症例の資料作成例（基本：図3）

症例番号1 20XX.X.X 撮影 上部構造装着時(上顎) 13UN

④ 上部構造装着時パノラマ
エックス線写真



・ 上部構造装着時の適合状態が判断できるエックス線写真（パノラマエックス線写真・デンタルエックス線写真）を提示することが望ましい。

プレゼンテーション症例の資料作成例（基本：図3）

症例番号1 20XX.X.X 撮影 上部構造装着後3年以上経過時（上顎）

13UN

⑤ 上部構造装着後
3年以上経過時
口腔内写真



プレゼンテーション症例の資料作成例（基本：図3）

症例番号1 20XX.X.X 撮影 上部構造装着後3年以上経過時（上顎） 13UN

⑥ 上部構造装着後
3年以上経過時
パノラマエックス線写真



その他のプレゼンテーションに使用したい資料があれば付け加えてください。

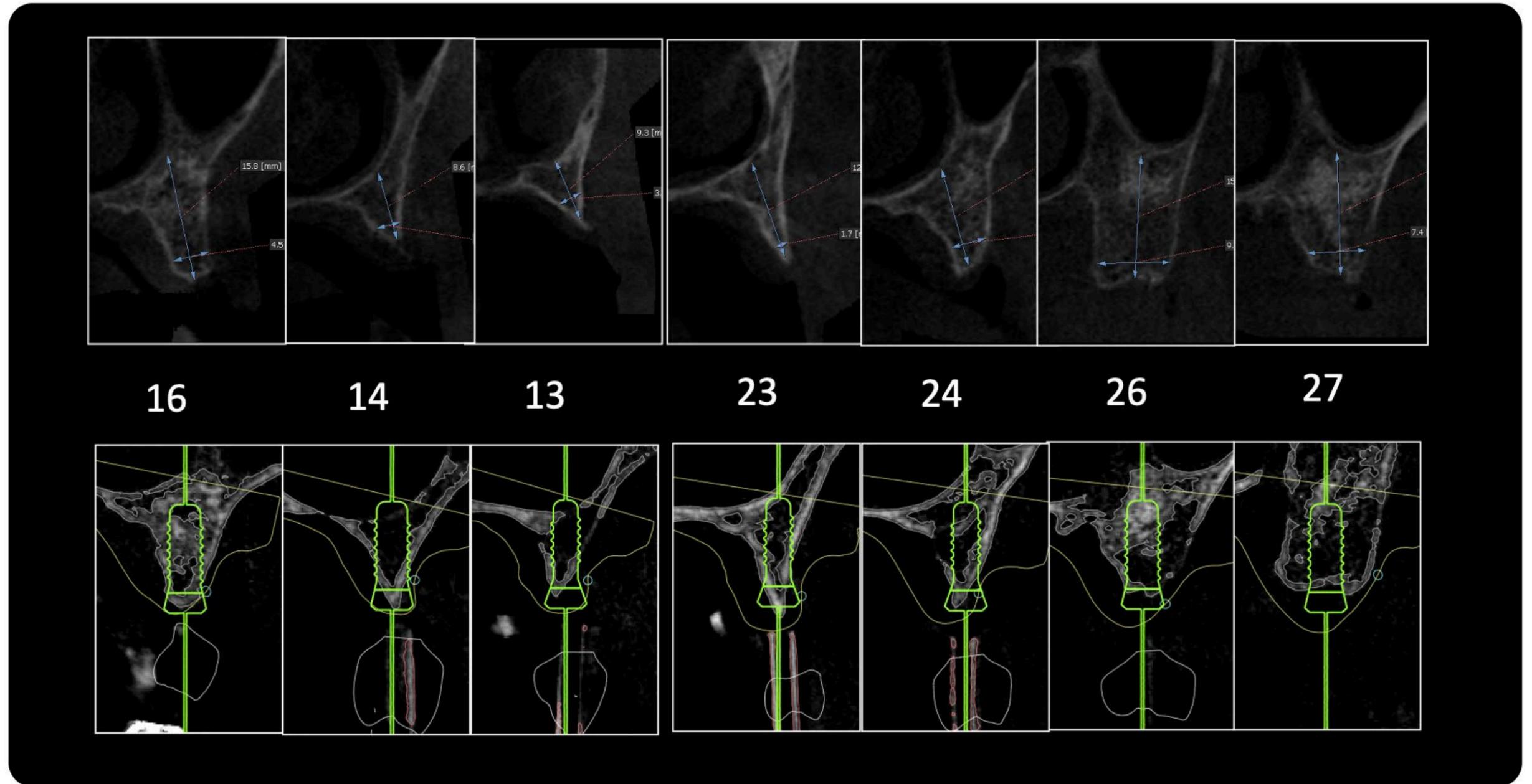
その他資料 ※必要に応じてプレゼンに使用しても良い

- ① 診断用ワックスアップモデル ※画像化して持参しない
- ② 術前診断資料(CTなどの画像診断写真)
- ③ 術中手術写真(手術所見の判断できる写真)
- ④ 上部構造の写真(プロビジョナル装着所見や 上部構造の設計所見など)
- ⑤ その他 血液検査データ, 術中管理記録や術中管理生体モニター記録など

プレゼンテーション症例の資料作成例（その他参考資料：図4）

② その他 術前診断資料 例

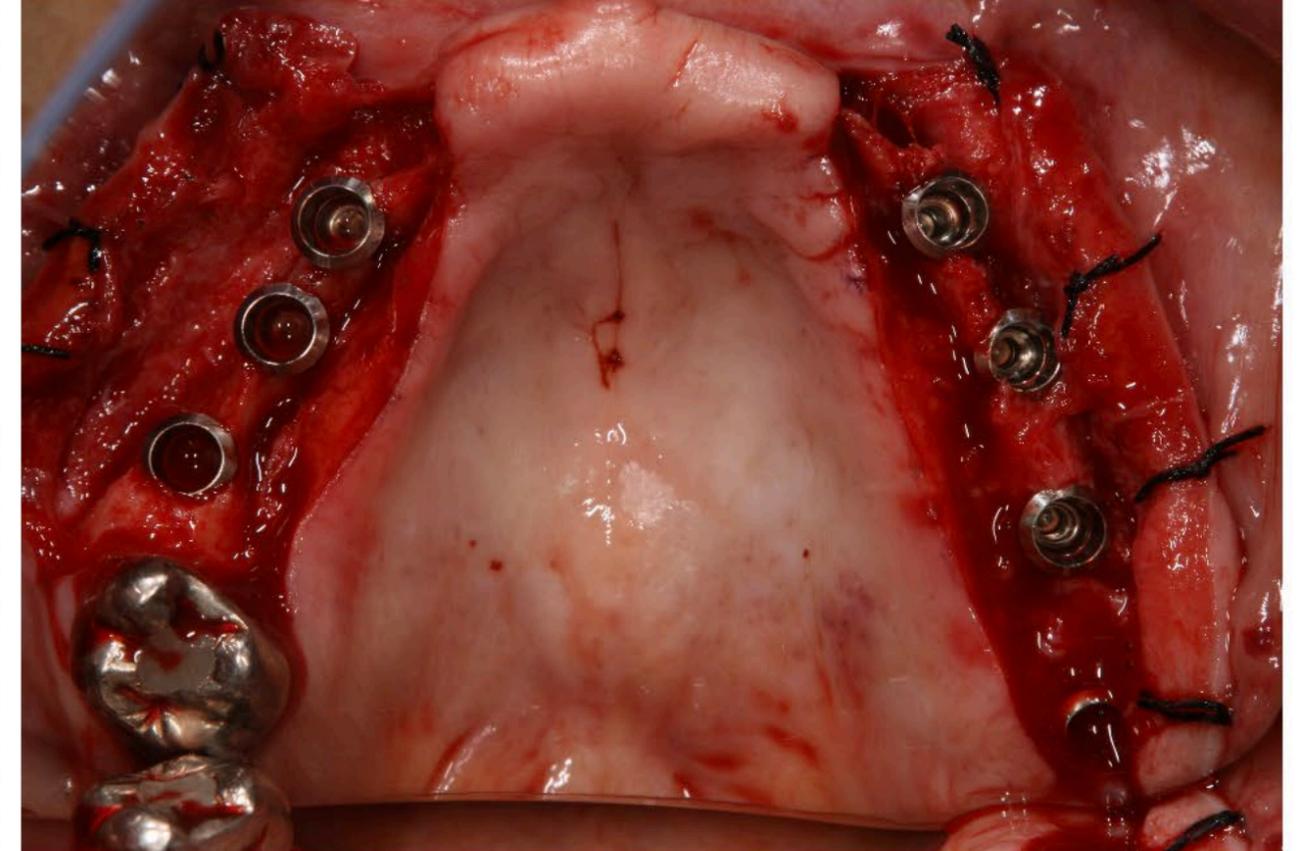
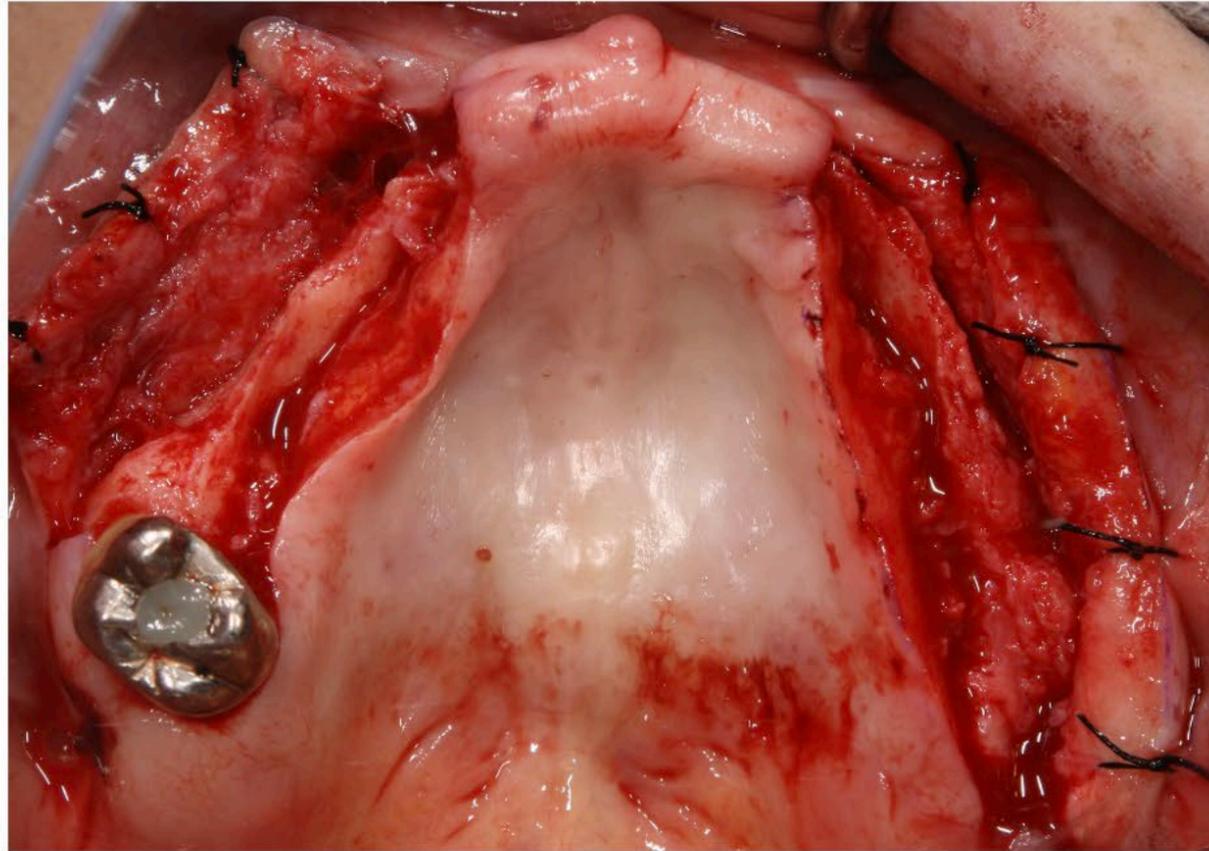
症例番号1 20XX.X.X 撮影 術前画像診断



プレゼンテーション症例の資料作成例（その他参考資料：図4）

③ その他
術中手術写真
例

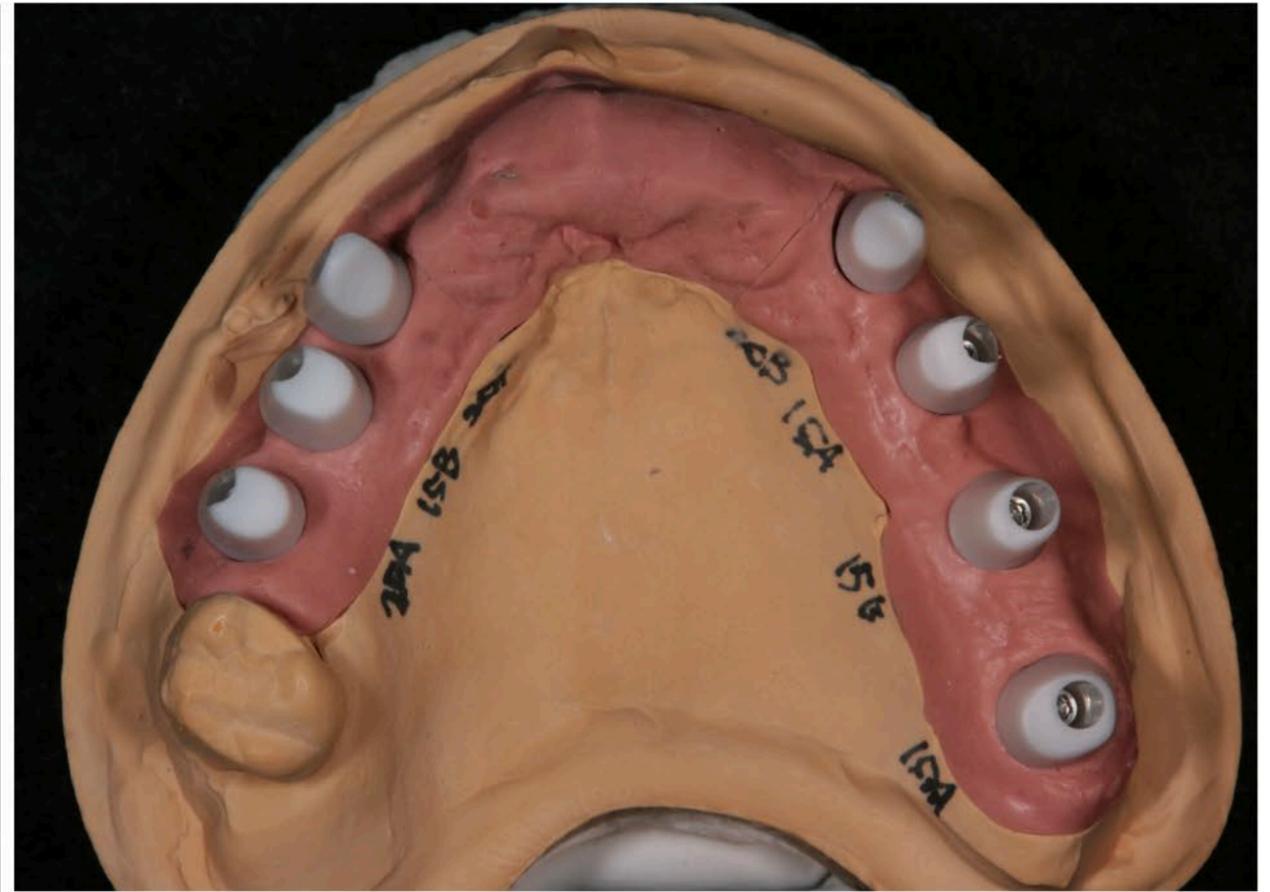
症例番号1 20XX.X.X 撮影 インプラン埋入手術所見



プレゼンテーション症例の資料作成例（その他参考資料：図4）

④ その他
上部構造写真
例

症例番号1 20XX.X.X 撮影 上部構造作成所見



以上がプレゼンテーション資料となります。

具体的治療内容や術式，医学的知識などについて口述試験するので，ケースプレゼンテーション試験に準じた資料。

（**ケースプレゼンテーション資料作成例を参照**）を作成してプレゼンすることをお勧めします。

3. 19症例の資料作成

- ・ プレゼン症例以外の19症例をパワーポイントやキーノートにパノラマエックス線写真を貼り付けたファイルを作成してください。
- ・ 16：9のワイド画面で作成することを推奨します。

19症例の資料作成例(図5)

症例番号19 20XX.X.X 撮影 インプラント埋入術前(下顎) 01LN



19症例

① 術前パノラマ
エックス線写真

・ 16 : 9 のワイド画面で作成することを推奨します。

19症例の資料作成例（図5）

症例番号19 20XX.X.X 撮影 上部構造装着後3年以上経過時（下顎） 01LN



19症例
② 上部構造装着後
3年以上経過時
パノラマ
エックス線写真

・ 16 : 9 のワイド画面で作成することを推奨します。

☑️症例番号

☑️20XX.X.X撮影（撮影年月日）

☑️インプラント体埋入術前（上顎）

☑️上部構造装着後3年以上経過時（上顎）

☑️13UN（治療内容分類記号）

治療内容分類記号

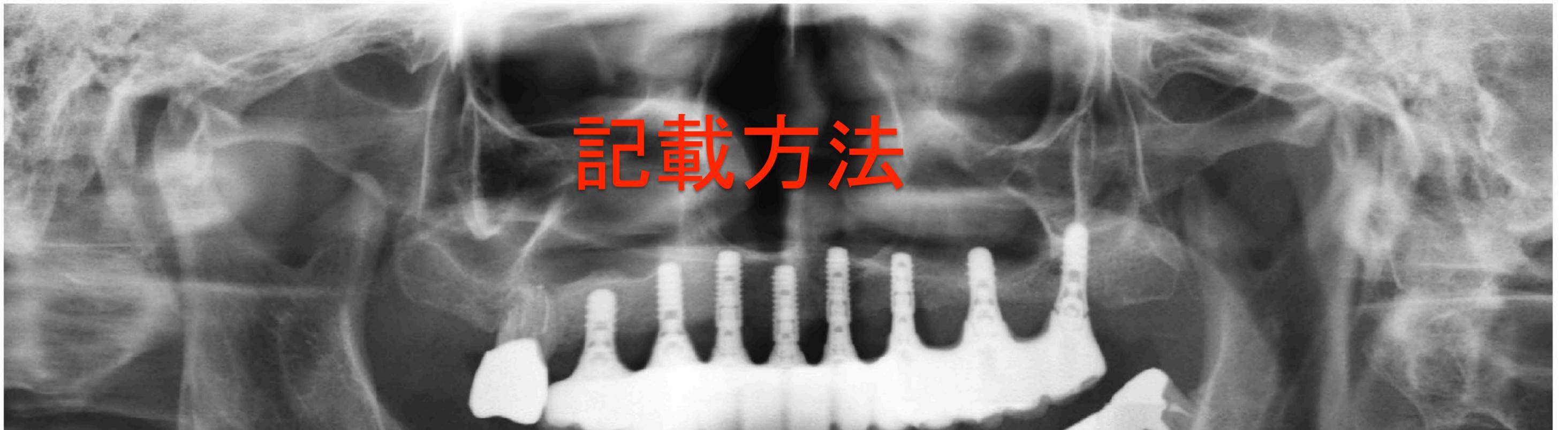
左2桁：欠損歯数

3桁目：上顎(U)・下顎(L)

4桁目：通常埋入(N)・骨増生(G)

5桁目：抜歯即時埋入(S)

症例番号1 20XX.X.X撮影 上部構造装着後3年以上経過時（上顎） 13UN

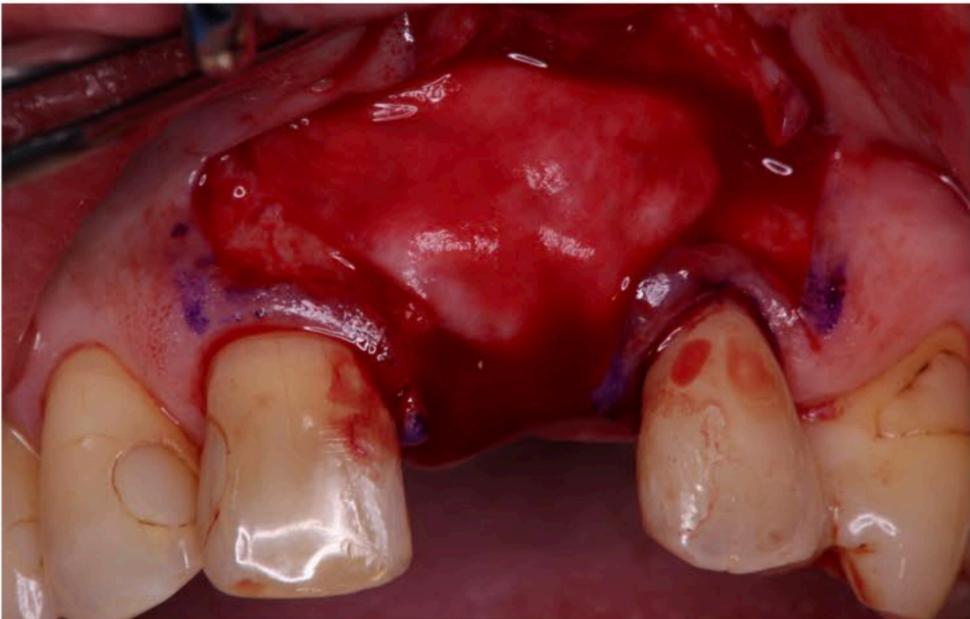
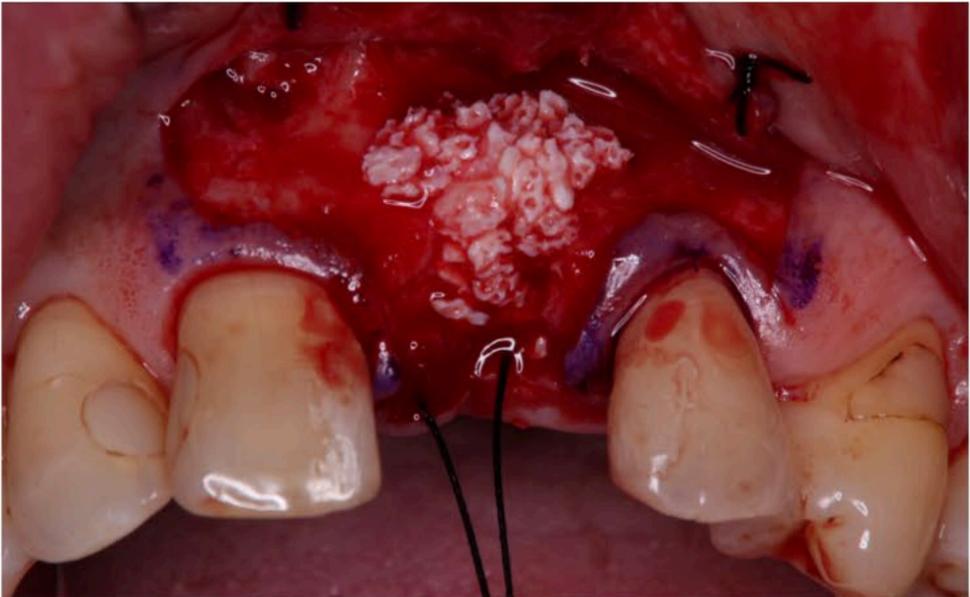


4. 19症例の追加資料の作成

- 19症例に追加資料がある場合
 - 抜歯前のエックス線写真しか提示されていない場合
 - 骨造成（骨増生）症例で、パノラマエックス線写真だけで判読できない場合
- これらを確認できる、追加資料（術中口腔内写真、デンタルエックス線写真、CT等）を作成してください。

19症例の追加資料作成例

症例番号XX 20XX.X.X 撮影 骨造成所見(例)

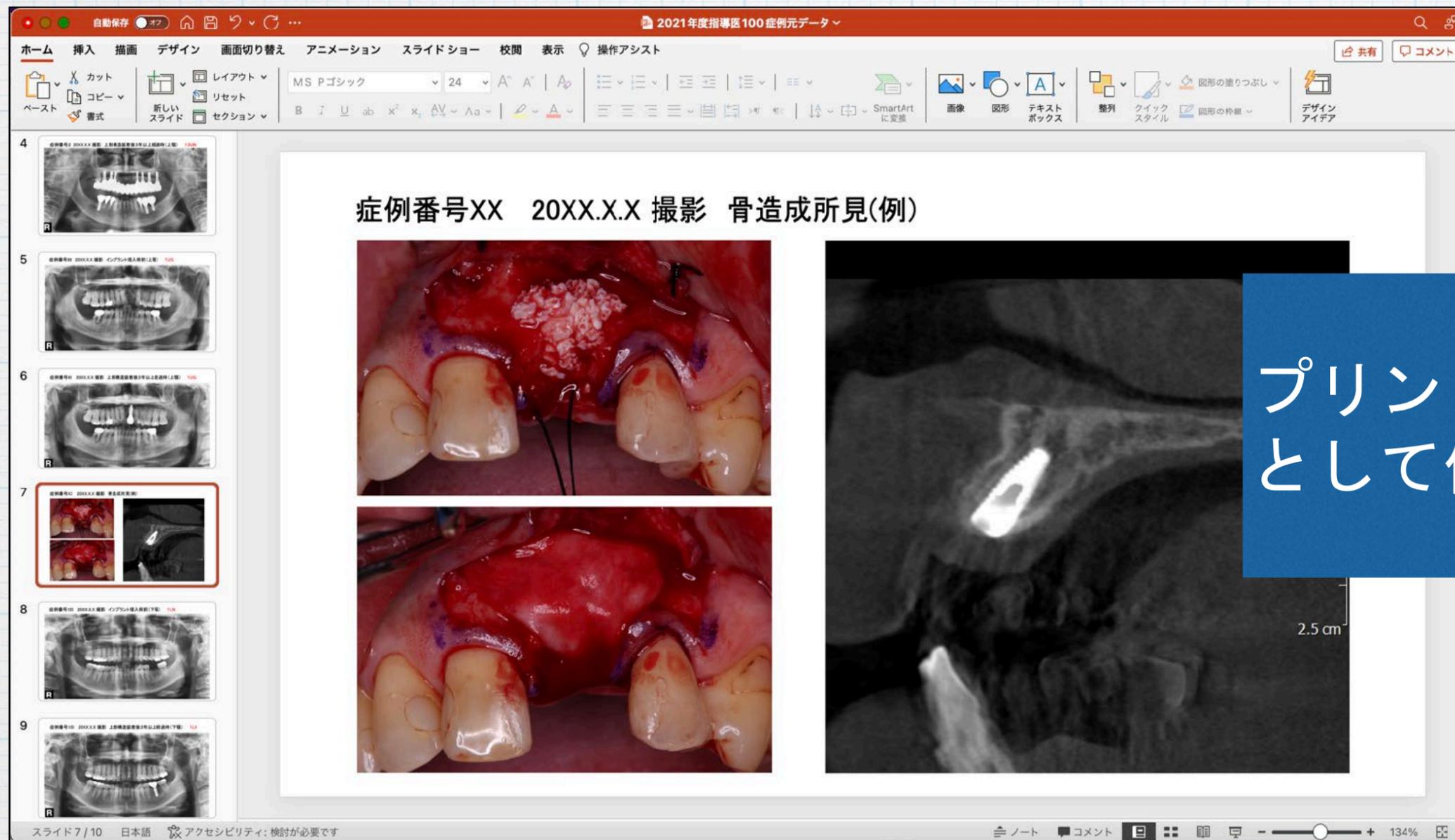


骨造成(骨増生)の状態がパノラマエックス線写真だけで判読できない場合、ここに示すような資料を作成して追加提出してください。

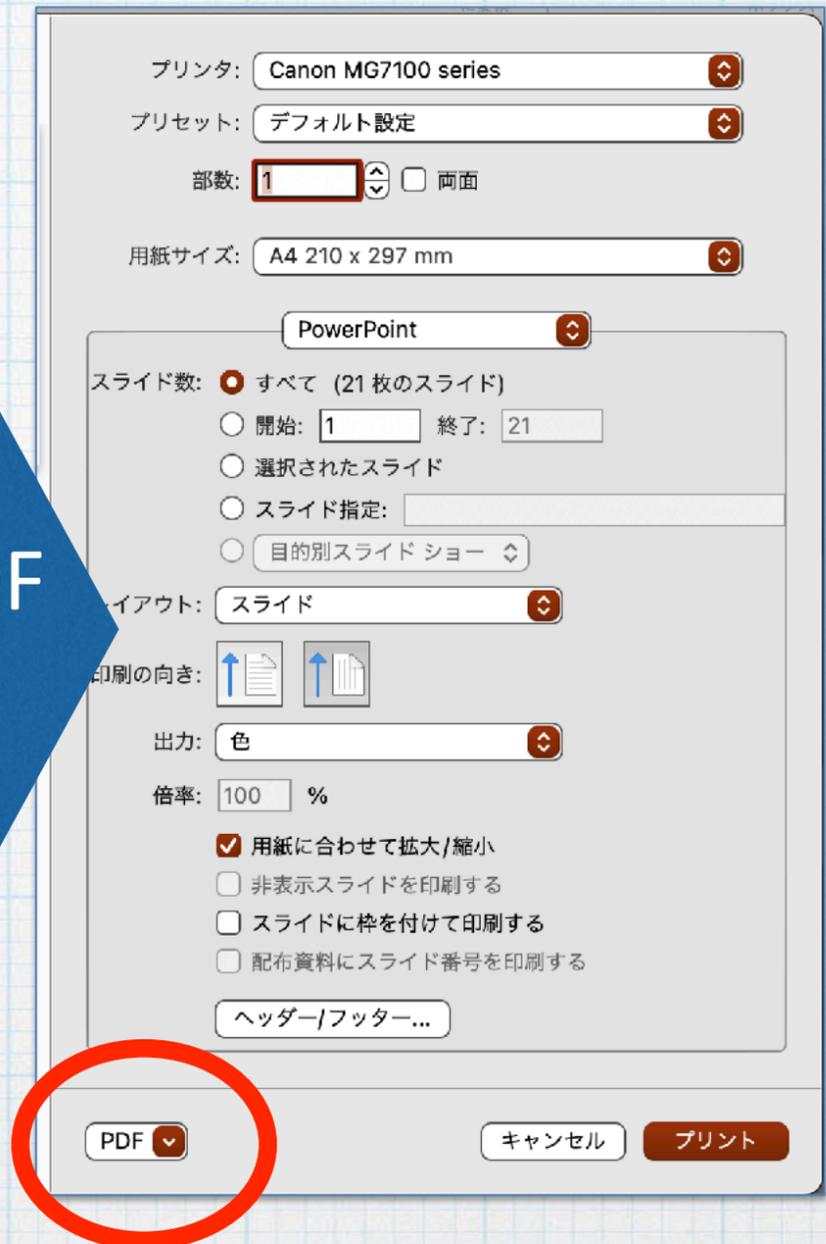


5. プレゼンテーション資料と19症例資料 (追加資料) を一つにまとめる

- ・ プレゼン資料と19症例資料 (追加資料) の全てを一つのファイルにまとめて、パワーポイントやキーノートのプリント機能でPDFファイルとして出力してください。
- ・ 19症例に追加資料がある場合は、症例毎に挿入してください。



プリントPDF
として保存



プレゼン資料と19症例資料に追加資料を挿入したものを、全てを一つのファイルにしてください。パワーポイント（プリント機能）やキーノート（書き出す機能）でPDFファイルとして出力してください。

これで全てのオンライン事前提出に必要な資料が揃いました。

6. 専用サイトへのオンライン事前提出

- ・ 事前に受験番号・専用サイトなどのご案内をいたします。
- ・ 20症例一覧とプレゼン資料＋19症例資料の2点のPDFをアップロードしてください。
- ・ オンライン提出後も提出締切日までは資料の修正は可能です。

事前提出サイト1（イメージ図）

日本口腔インプラント学会

2025年度口腔インプラント専門医試験

専門医試験発表資料アップローダー
ログインページ

ご登録氏名

姓： 名：

受験番号

LOGIN

「画面等変更になる可能性があります」

Copyright © icvention All Rights Reserved

- ・ 受験番号と事前提出用サイトのアドレスを通知します。
- ・ ログインしてください。

事前提出サイト2（イメージ図）



- ・ PDFファイルを各々のアイコンからにアップロードしてください。

事前提出サイト3（イメージ図）

2025年度口腔インプラント専門医試験
プレゼン資料・19症例資料アップローダー

受験番号

お名前

プレゼン資料データ

 ファイルは選択されてません。(No File)
Choose a file
File limit 100MB

情報の取り扱いについて (About the handling of information)
ご入力いただきました内容は、日本口腔インプラント学会 2022年度ケースプレゼンテーション試験連する業務に係る用途にのみ使用させていただきます。了知の上で、データを「送信」してください。

Copyright © Iconvention All Rights Reserved.

- ・ 20症例一覧表とプレゼン資料＋19症例資料のアップローダーからPDFファイルをアップロードしてください。
- ・ 「登録する」アイコンをクリックすると保存されて、オンライン事前提出の完了です。

「画面等変更になる可能性があります」

7. 口述試験の概要

- ・ 事前提出資料を試験会場のPCを用いて説明して頂きます。
- ・ 新型コロナウイルスの感染対策を施しております。
- ・ 試験当日は、当会が準備したPCで発表して頂くため、受験者が会場にPCや紙媒体の持参は不要です。
- ・ ご自身の発表用のメモや原稿などの持ち込みは可能です。但し、個人のノートパソコン等の使用は認めません。

口腔インプラント専門医試験当日

紙媒体や模型の持参は必要なし

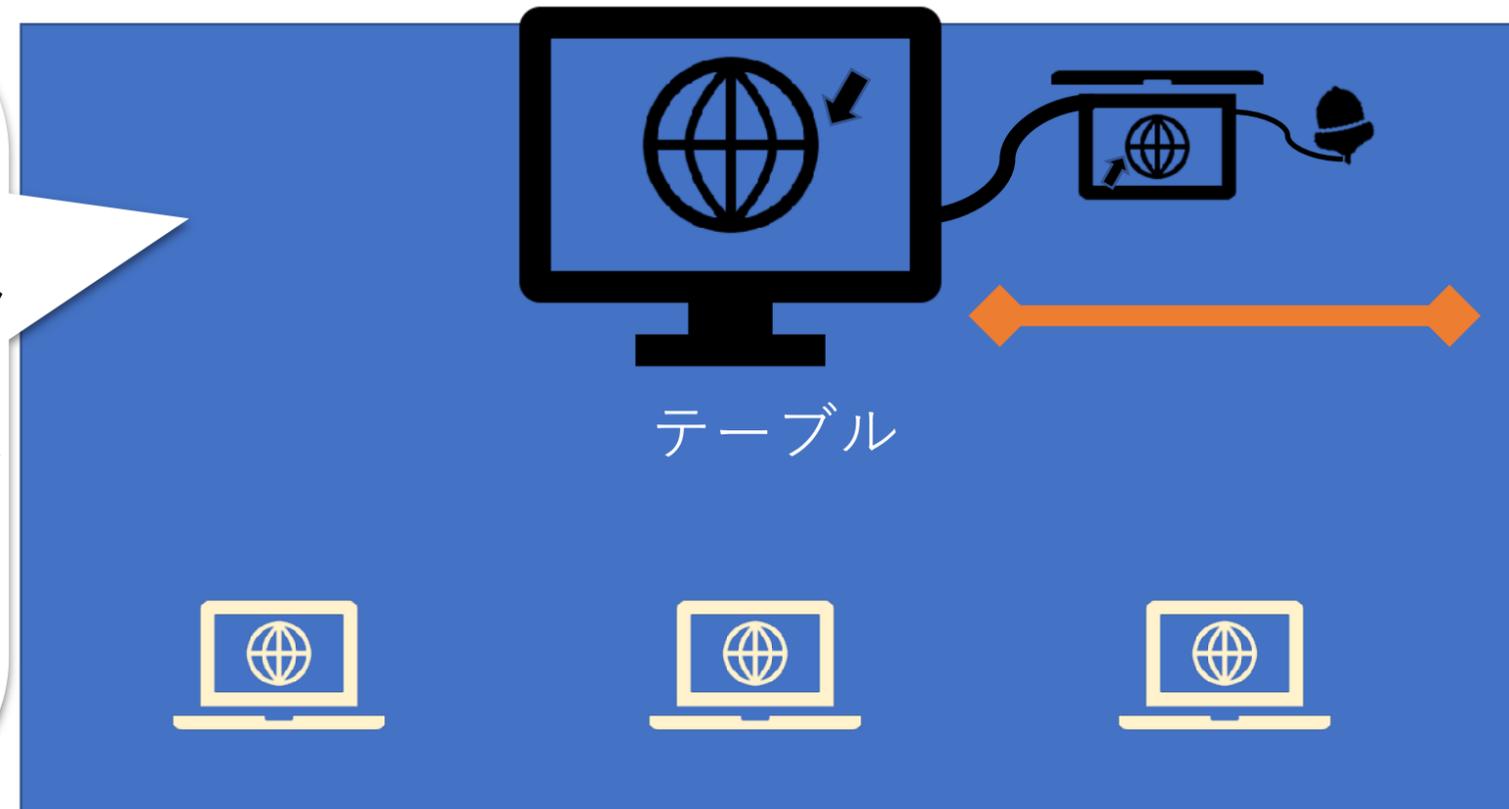
- ✓ 事前提出したPDF資料を用いて試験会場の専用PCで説明してもらいます。
- ✓ プレゼン5分間，約20分間の口述試験を行います。



受験者

新型コロナウイルス感染対策

- ディスプレイとマウス付きPCでプレゼン症例を説明
- 画面はミラーリングしカーソルをポインターの代わりにしてプレゼン



感染予防の
アクリル板



審査員3名

試験当日のPC画面・説明イメージ



- ・ 設置マウスを使用して説明します。
- ・ スクロール機能としおり機能で各症例に移動して解説していただきます。
- ・ 画面はミラーリングしカーソルがポインタ一代わりになります。

Q

上部構造装着時の口腔内写真は5枚法ですか？

A

上部構造**装着時**の口腔内写真は、5枚法（正面・左右側観・上下咬合面観）が原則。

→**上部構造装着直後**ではなく、**装着後概ね3か月以内**の写真でも可。エックス線写真も同様の扱い。

※暫定期間を2023年度まで2年間延長します。上部構造装着時の口腔内写真、パノラマエックス線写真やデンタルエックス線写真などが無くても症例として認めます。

Q プレゼンは口腔内写真とパノラマエックス線写真のみの資料で行うのですか？

A 図3に示した術前・上部構造装着直後・3年以上経過時の口腔内写真とパノラマエックス線写真のみのプレゼンでも可能ですが、具体的治療内容や術式、医学的知識などについて口述試験するので、**ケースプレゼンテーション試験に準じた資料**（HPに掲載の**ケースプレゼンテーション資料作成例を参照**）を作成しプレゼンすることをお勧めします。また、診断用ワックスアップモデルや各種の模型など、プレゼンに必要と判断する場合は、持参せず、全て画像化してオンライン提出しプレゼンに用いてください。